



を高く 高く持ち )	4 学校全体が動く キャリア教育と、 その成果として の進路希望実現	人権意識を基盤とし た個に応じた進路保 障を推進する	生徒の人権、希望、能力、適性 を尊重し、補習や小論文・面接 指導などの個別的な個別指導 を行う。	進路 指導	個に応じた進路指導がされ ていると感じている評価値 (生徒・保護者)	3.5	3.1	89.4	B	補習の在り方を工夫し、生徒が達成感をも てるように取り組んだ。特に3年生に 対してきめ細かな指導ができた。	B	面接や小論文指導等、放課後遅くまで きめ細かな指導に取り組んでもらってい る。ホームページ等でも進路情報や取り 組みの発信をしてほしい。	学年主任及び学年進路担当を中心に、 月ごとに進路意識や学習意欲を向上さ せるための働きかけを計画的に行う。
		保護者、地域、大学 等との連携により キャリア教育を充実 させる	総合的な学習の時間を活用 し、上級学校訪問・職業人講話 をはじめとする体験活動を積極 的に実施する。		キャリア教育が進路決定や 文理選択に役立ったと感じ ている評価値(生徒)	3.5	3.3	94.6	B	県内外の大学・専門学校の見学、職業 人講話など、訪問先や講師について生 徒の意識の高揚につながるように計画し た。	B	地元企業の見学だけでなく、高速道路 の便を生かした上級学校訪問の機会を 増やして、生徒の進路意識を向上させ てほしい。	安来市と連携して、生徒の地域産業へ の理解を進めるとともに、より広い視野 と信念をもった進路目標を設定させる。
	5 生徒の学力向上 と教員の指導 力・授業力向上	授業を充実させると ともに生徒に自学自 習力を付けさせ、確 かな学力を獲得させ る	公開授業(互見授業)や授業自 見、生徒による授業アンケート を実施し、自己研鑽する機会を 設ける。	教務	2学期授業アンケートの評 価値(生徒)	3.5	3.5	100.6	A	年々評価が向上している傾向があり、教 員の授業力向上に向けた努力が窺われ る。一方で互見授業がやや形骸化する 向きもあり、検討を要する。	B	生徒の評価からもわかるように本校の 教員のレベルは高い。地域にももっとア ピールするべき。	授業をつくり上げるのは教師と生徒であ るということを強調し、アンケートの有効 利用につなげる。互見授業がもう少し気 軽にできるように実施方法を検討する。
		各教科、分掌との連 携により基本的な学 習習慣を定着させる	生徒の学力向上のために、各 学年の進路目標に向けた課題 と改善策について教職員間で 共有し、進路検討会や模試分 析会を活性化させる。		進路 指導	個々に応じた適切な学習指 導ができていると感じている 評価値(生徒・保護者)	3.5	3.1	88.9	B	適切な時期に検討会を行い、生徒への フィードバックも適切に行った。模試の分 析を校内LANを活用してタイムリーに 行った。	B	生徒が多様化しているので担任だけだ と指導が大変だと思う。教職員全員で 目標あわせをしたうえでの指導を期待 する。

美しくⅢ 豊か美しく 生きる	6 確たる人権尊重の意識を持ち、自らを大切にし他者を思いやる心の育成	自他を尊重する生徒の育成「美しい人間性」と人間関係の形成」	生徒一人一人が自己肯定感を持って学校生活が送れるように、全教職員が共通理解を持ち、適切な指導・助言を行う。	人・同 教推	人権を尊重する意識を育てる指導が適切に行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.1	89.9	B	キャリア教育、道徳教育、人権・同和教育の一体的な指導計画により、日常的に取り組んだ。その趣旨が浸透するようさらに取り組みたい。	B	人権意識は人間関係の根本である。保護者に、部活動や授業での教員の発言に対する意見があるので、全教職員で共通認識をもってほしい。	キャリア教育、道徳教育との関係性を教職員がより理解しつつ、学校全体で人権を尊重できるよう教員研修に努める。
		生徒、教職員の人権意識を高め、地域との連携を深める	人権・同和教育に関するLHRと校内研修を開催し、個々が自分の在り方を振り返る機会を設ける。		学校活動で人権を意識して行動する場面があったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.4	95.7	B	発達障害を有する生徒の具体的な支援についての教員研修を実施し、教員の資質向上に努めることができた。	B	発達障害を有する生徒に対して適切な対応をしてもらった。今後も様々な課題を抱える生徒がいると思うのでよろしくお願ひする。	学年部や保健・教育相談部等と連携して計画的に研修を実施していく。
			地域の実態を理解するために、小・中学校、行政を含む地域社会との情報交換、交流に努める。		小中学校や地域での勉強会、地域交流に参加した教員数。	30名	20名	66.6	C	全ての教科において市内の中高連携を進める会を開催した。参加者を増やし、当事者意識を強めていきたい。	C	幼小中高を通したキャリア教育が求められている。安来市との連携を進めてほしい。	教科ごとの中高連携の拡大を図りつつ、安来市教育委員会と連携した「教育魅力化」に取り組む。
	7 開かれた学校作りと家庭及び地域連携	開かれた学校づくりに向けた広報活動の充実	学校案内やホームページ、県外でのPR活動等、広報活動を充実させる。	総務	HPの月の更新数	15	15	100	A	計画通り実行するように努めたが、部活動の大会結果の報告が遅れたことがあった。	A	読み応えのある記事があって楽しく見ている。HPによる発信は学校への信頼感の向上に繋がっているため、継続的に取り組んでほしい。また、学校紹介のDVDはとも良い出来映えだった。	部活動の大会結果のアップに時間がかかっているため、部活動の顧問に強力に情報発信を求めていく。学校紹介DVDもより良いものに再編集していく。
					本校からの文書連絡は、保護者に届いていると感じている評価値(保護者)	3.5	3.4	98	B	ピンク色の紙に印刷し、保護者が確認できるよう努めている。	B	ピンク紙での配布は効果的である。	メールは緊急時を想定しており、ホームページにはPRの役割がある。今後も文書のわかりやすさ、適切な時期の発行に努めていく。
					奨学金制度の情報提供が適切に行なわれていると感じている評価値(保護者)	3.5	3.1	89.1	B	学生支援機構以外の奨学金の情報提供も確実に実施した。今後も継続したい。	B	制度が改定されるので、周知ぬ向けたい。	連絡が確実に伝わるように広報及び説明会を行う。
		PTA・中の海会・その他諸団体との連携による学校教育に対する信頼の醸成	他の分掌と連携し、保護者が参加しやすい研修会・講演会を計画し、案内する。		PTA総会の出席率(保護者)	25%	19%	76	B	総会の前に授業参観の機会を設けたが、出席率は例年なみであった。安心の裏返しというPTA会長のコメントもあった。	B	課題ではあるが、学校に対する安心、信頼感の裏返しとも考えられる。	PTA行事の精選をすることで、保護者が「年に一度くらいなら行ってみようか」と思えるようにする。
	8 豊かな情操の涵養と、環境美化意識の徹底	保健活動・生徒支援組織の運営を適切に行い、生徒の健康な心身を育成する	朝の健康観察に基づく欠席者集計や保健室利用による生徒の状況把握と教職員への情報提供を徹底する。	図書情報 事務	健康診断・治療助言や保健室での相談、健康の保持増進に役立ったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.3	94.9	B	計画通り実施できている。	B	元気な安高生であるためによりしくお願ひしたい。	生徒が不登校になってしまう前に取り組むことを行っていく。
		図書館利用のための広報活動の強化	全教職員の協力を得て、広報紙(ブックレビュー)を作成する。		図書館の広報が有効だったと感じている評価値(教員)	3.5	3.2	90	B	計画通り発行できた。	B	ピブリオバトルの中国大会での好結果などを広報して、生徒の読書意欲を喚起してほしい。	ブックレビューやブックトーク、学級文庫、ピブリオバトル等に生徒が自主的に活動するよう働きかける。
		校舎と校地の安全・安心な環境づくり	日常の点検や学期末点検により危険箇所把握し、早急に修繕を行う他、学校行事等に合わせ計画的に環境整備を行う。		人身事故発生件数(生徒・保護者・教員)	0件	0件	100	A	学校設備が原因の人身事故は発生していない。	A	老朽化は避けられないが、安全点検はしっかりと行い、事故の未然防止に努めてほしい。	点検等により危険箇所の把握に努め、迅速な対応をする。必要に応じて関係機関に修繕を要望していく。